※令和４年度以降入学生用

学校番号	１１１

令和５年度　芸能文化科

教科	芸能文化	科目	舞台演習（総合）	単位数	２単位の内の１単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では課題の解決に向けて知識や技能を習得します。
・習得した知識や技能をもとに芸能作品を鑑賞し、作品を通して気づいてことや考えさせられた事などを振り返ります。
・演劇発表に向けての準備や議論を通して、周りの人と協働できる活動を行います・
・学習の記録のために学習プリントやノートを使用します。板書事項を書き写すだけではなく、気づいてことや発言を記録するなどしてください。書き写すだけでは高評価にはつながりません。

２　学習の到達目標

（１）　舞台で活動するために必要な大道具、舞台機構の基礎知識を習得し、芸能作品を鑑賞するための基礎知識を習得する。
（２）　作品鑑賞のための基礎知識や史実などを総合して作品の時代の人々の暮らしを考えたり、価値観などを考察する。また、舞台づくりをする際に身につけた知識から適切な舞台表現に活用できる力を身につる。
（３）　クラスメートと作品について意見を交換できる力と態度を身に付ける。ともに一つのものを作り上げるために活動でき、粘り強く取り組む態度を身に付ける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・舞台で活動するために必要な大道具や舞台機構の知識、作品鑑賞のための知識を身に付けている。	・芸能作品を理解することを通して、作品の時代の価値観や人々の生活を考えることができる。作品作りにおいて内容を理解し、それを自分なりの表現にできる力を身に付けるようにする。	・作品や他の芸能に興味を持ち調べることができ、クラスメートと主体的に意見交換したり、舞台図面作成や道具作り、演技などの探求を粘り強く行うことができるようにする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	舞台基礎（Ⅰ）	第1節 1.　大道具･舞台機構基礎	a:大道具や舞台機構の名称や使用に関する安全項目、使用方法などを理解する。 b:学習した大道具や舞台機構を使用して、様々な場面での活用を考察する。 c:興味を持って大道具や舞台機構について調べようとしている。	定期考査	定期考査 提出ノート	提出ノート 授業観察
	舞台作品鑑賞（Ⅰ）	第1節 1. 古典作品理解	a:古典作品概要を理解する。 b:いろいろな古典作品を比較しできる。 c:興味を持って古典作品に触れようとしている。	定期考査	定期考査 提出ノート	提出ノート
		2. 文楽鑑賞基礎	a:文楽の基礎を理解する。 b:文楽について他者と意見交換できる。 c:三業について興味を持ち調べようとしている。	定期考査 プリント	プリント 授業観察	提出ノート 授業観察
		3. 鑑賞作品理解 第１節 1. 創作演劇製作	a:作品の内容を理解している。 b:作品の内容の意味を時代に照らして考えることができる。 c:文楽について興味を持って調べようとしている。	定期考査	定期考査 授業観察	授業観察 振り返りプリント
			a:美術セット製作の基本知識を理解する b:脚本を理解し問題点などを探して話し合うことができる。 より適切な用言を考え意見を出し合い、作品作りができる。 c:各自の役割に責任を持ち活動をしようとしている。	作図課題	振り返りシート 授業観察	振り返りシート 授業観察

※令和４年度以降入学生用

	舞台基礎（Ⅲ）	第1節 1. 舞台用語の理解	a:舞台用語を理解する。 b:学習した舞台用語を作品づくりに活用できるように考察する。 c:舞台用語に興味を持ち気づいてことを発見しようとしている。	定期考査	提出ノート	提出ノート 授業観察
	舞台作品理解（Ⅱ）	第１節 1. 能鑑賞基礎	a:能の基礎を理解する b:能以外の芸能との違いや共通点を考察することができる。 C 能作品に興味を持ち、主体的に調べようとしている。	定期考査	定期考査 提出ノート	授業観察 提出ノート
		2. 鑑賞作品理解	a: :作品の内容を理解している。 b:作品の内容の意味を時代に照らして考えることができる。 c:能について興味を持って調べようとしている。	定期考査	定期考査 授業観察	振り返りシート 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度